

松風平和

令和3年度
那覇市立松島中学校
学校便り [No. 17]
令和3年2月8日(火)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「❀祈願桜❀にメッセージ(想い)を込めて！」

1月31日に3年生の進路に関する三者面談をタブレットを活用して実施しました。保護者の皆様のご理解とご協力もあり、全体的にスムーズに話し合いを進めることができました。ありがとうございます。

先週金曜日(2月4日)に、一般受検の中間志願状況が新聞に発表され、出願した高校の倍率がどうなっているか気になったことでしょうか。それを受けて今日から志願変更の手続きが始まります。志願変更をした生徒も含めて、最終決定した高校合格に向け最後まで勉強に取り組んでほしいと思います。

さて、本校生徒会総務(会長:山内美空さん)は、高校受検に向かう3年生に激励の気持ちを込めて「祈願桜」を作成し、3年生フロアを中心に校内に掲示しています。桜を型どったメッセージカードに各自が応援メッセージを書き、それをクラス毎に一つの文字を仕上げます。1, 2年生の13クラスと先生方の文字を組み合わせると、一つのメッセージが完成するようになっています。下の写真は先生方の最後(14番目)の文字です。



2月8日(火)のMeetでの全体朝会「祈願桜を贈る会」で、生徒会長の山内美空さんから、「今回、私達1, 2年生は、先輩方を応援するために、桜の花に想いをこめて、大きな文字をつくりました。この祈願桜のメッセージが少しでも3年生の皆さんの心の支えになればいいなと思います。先輩方の力が発揮できるように願っています。」とエールが贈られました。また、3年生を代表して米城有華さんが、「1, 2年生の皆さん、私達3年生のために祈願桜を通して応援メッセージを送ってくださりありがとうございます。昔から『受検は団体戦』といい、今年度の3年生もクラス内での教え合いなど、多く見られるようになってきたと思います。中学校生活3年間を共に過ごしてきた仲間達と、入試まで残り21日間、さらに気を抜かずに受検勉強に励んで生きたいと思います。」と力強く語ってくれました。後輩や先生方の想いを受け止め、自分の目標に向かって頑張ってください。



「学年末テストが終わりました。次に何をしますか？」

昨日(2月7日)、1, 2年生の学年末テスト、3年生の模擬テストが終わりました。勉強の成果を発揮することはできましたか。

さて、東京大学の池谷教授は「学習、成長—未来の脳を考える」という講演の中で、「効率的な勉強法」を紹介しています。「勉強法には大きく二つある。一つは何度も何度も徹底的に見直して、頭にたたき込む勉強法。もう一つは、確認テストをひたすらやる勉強法。つまり思い出す練習。この二つの勉強法だと覚えるスピードは一緒。ポイントは忘れるスピードに圧倒的な差がつく。例えば、三ヶ月ぐらい経ってから再テストを行うと、覚えてる点数が少なくとも三倍、普通は五倍ぐらい違う。点数が高いのは思い出す練習の方。脳は入力よりも出力を重視しているということになる。でれだけ出力したか、これが全て」とのこと。

テストが終わってホッと安心するのではなく、もう一度振り返って思い出させる。忘れた頃にまたやる。テストは終わった後が大事と言うことですね。